

**平成29年度
教育委員会点検・評価報告書**

～平成28年度活動実績～

平成30年3月

四万十市教育委員会

点検及び評価の概要

平成20年4月1日に施行された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正において、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況について、点検・評価を行うことが義務付けられました。

この教育委員会の点検・評価については、教育委員会の効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たしていくため、教育委員会自らが、①毎年、②教育長及び事務局の事務執行を含む教育委員会の事務の管理執行の状況について、③教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図りつつ、点検・評価を行うこととし、④その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないとされました。

この法律に基づき、平成28年度の教育委員会活動の取組み実績について、自己点検・評価を行うこととし、また、評価内容の客観性を確保するため、教育に関する学識経験者のご意見を頂き、「平成29年度教育委員会点検・評価報告書(平成28年度実績)」としてまとめ公表することとしました。

四万十市教育委員会では、これまでに学校教育の充実、教育改革の定着と推進、生涯学習の充実と推進、青少年の健全育成、人権教育の推進、芸術・文化・スポーツの振興などに取り組んできました。

この度の教育委員会の点検・評価制度の実施により、教育委員会自らが事後にその成果や課題を再確認することで、今後の施策改善に反映させるとともに、目指すべき方向についてより具体的なそして効果的な教育行政の推進を図ることとしています。

平成30年3月

四 万 十 市 教 育 委 員 会

平成29年度（28年度対象） 四万十市教育委員会 評価シート

1 自己点検・評価

大項目	中項目	小項目	取り組みの概要	評価
1 教育委員会の活動	(1) 教育委員会の会議	①開催状況	・ 定例会を会議規則で定めたとおり毎月1回開催、臨時会を4回開催した。	4
		②運営上の工夫	・ 議案、資料を事前に配布し、情報交換を行えるよう努めた。 ・ 教育委員会前後等の時間を利用し、協議や報告事項の確認を行った。	4
	(2) 教育委員会と事務局との連携		・ 適宜、協議を行うなど情報交換、意見交換を行った。より一層の連携を図るために資料収集、情報交換に努めた。	4
	(3) 教育委員の自己研鑽		・ 県教委並びに幡多地教連主催の合同研修会等に積極的に参加し、当市の教育行政に反映できるよう自己研鑽に努めた。	3
	(4) 支援・条件整備	①・学校訪問・支援	・ 7月から10月にかけて25校（小学校14校、中学校11校）の学校を訪問し、学校の状況把握並びに意見交換を行った。	4
		② 所管施設訪問・支援	・ 小中学校の卒業式、運動会に出席し、祝辞等を行った。 ・ 各委員が必要に応じて所管施設等の訪問を行い意見交換を行った。	3
		③ 広報・情報公開	・ 市広報に市教委だより等を掲載し、市教委の取り組み状況等を周知した。	4
2 教育委員会が管理・執行する事務	(1) 教育行政の基本的な方針に関すること		・ 平成28年度教育行政方針を策定した。 ・ 第2期学校教育振興基本計画を策定した。	4
	(2) 教育委員会規則等の制定又は改廃に関すること		<制定> ・ 四万十市立中学校英語検定受験料補助金交付規則 ・ 四万十市立小中学校再編検討委員会設置要綱 ・ 四万十市郷土資料館展示改修業務委託業者審査委員会設置要領 ・ 四万十市就学義務の猶予又は免除に関する規則 <一部改正> ・ 四万十市立学校給食センター設置及び管理に関する条例施行規則 ・ 四万十市心身障害児等に対する就学指導に関する規則 ・ 四万十市立学校教職員の服務に関する規則 ・ 四万十市立小学校及び中学校の管理運営に関する規則 ・ 四万十市立学校準公金取扱要領	4

大項目	中項目	小項目	取り組みの概要	評価
2 教育委員会が管理・執行する事務	(3) 学校その他の教育機関の設置及び廃止等に関すること		<設置> ・スクールミールぐどう <改築> ・中村中学校屋内運動場 ・西土佐中学校屋内運動場	4
	(4) 職員の任免その他の人事に関すること		・教育長職務代理者の選任並びに事務局各所属における適切な任命等による人事配置が行われた。 ・非常勤特別職員の委嘱及び任命	4
	(5) 議会の議決を経るべき議案の原案決定に関すること		<教育予算の見積もり決定> ・教育委員会事務局各課の予算についての確認	4
	(6) その他教育委員会が管理・執行する事務		・平成28年度(平成27年度活動実績)教育委員会点検・評価報告書の策定	3

大項目	中項目	小項目	取り組みの概要	評価
3 管理・執行を教育長に委任する事務	(1) 学校教育に関すること	①教育内容・体制の充実	<p><学力向上対策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県教育版地域アクションプラン等を活用し、市内の小中学校を四万十市の教育改善に向け「オール四万十」として研究推進校の指定をし、学校長のリーダーシップによる授業改善に向けた取り組みや特色ある教育活動の推進など学校の主体的、自立的な取り組みを支援し、学校力・授業力の向上を図った。 ・「全国学力・学習状況調査」、「県版学力定着状況調査」、「到達度把握調査」を実施し、校内研究代表者会及び教育研究所において分析した結果をもとに授業改善を行い、基礎学力の定着と学力向上に努めた。 ・各校において、帯タイムの活用や家庭学習へ取り込んだ。また、積極的に読書活動も推進した。 ・小学校3年生に国語辞典、中学校1年生に英和・和英辞典を一人一冊配布し、活用することにより基礎学力の定着を図った。 ・外国語指導助手（ALT）を配置（中村地域4名、西土佐地域1名 計5名）し、小・中学校に派遣を行い英語教育の充実に努めた。 ・中学生の英語検定受験料を補助し、受験機会の拡大を図り、生徒の英語力及び学習意欲の向上に努めた。 ・放課後学習支援員を配置（中村地域7校、西土佐地域1校）し、基礎学力の定着に努めた。 <p><不登校対策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ・不登校等生徒指導上の課題に対応するためスクールソーシャルワーカーを4名配置して、児童生徒、保護者の相談支援、校内体制の支援に努めた。 ・研究員1名と不登校児指導員3名を配置し、学校と連携して不登校児の家庭での学習や教育支援センター（ふれあい学級）での学習の支援に努めた。平成28年10月からは西土佐地域にもふれあい学級を週1日開級した。 ・教育研究所を拠点に、教育相談を実施するためのスクールカウンセラーを配置した。 <p><いじめ防止対策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十市いじめ問題対策連絡協議会を開催（1回）し、いじめ問題等の実態把握、情報交換、防止のための方策等について協議を行った。 ・いじめ問題の克服のため、児童生徒、保護者、地域住民を対象に「いじめ問題講演会」を実施した。 ・「いじめストップ四万十子どもサミット」で採択された「サミット宣言」を啓発するため、「クリアファイル」を作製し、各学校、児童生徒に配付した。 	4

大項目	中項目	小項目	取り組みの概要	評価
3 管理・執行を教育長に委任する事務	(1) 学校教育に関すること		<p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県山の学習支援事業（6校） ・特別支援教育支援員配置（10校） ・学校図書館支援員配置（6校） ・児童生徒支援員配置（4校） ・中学校体育大会出場補助（10校） ・学校支援地域本部事業（2校） <p>～その他「事務報告書」参照～</p>	
		②教育条件（環境）の整備	<p><施設整備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋内運動場改築事業 改築（中学校3校） ・屋内運動場耐震化事業 （中学校1校） <p><学校安全></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールガードリーダー5名を配置し、児童生徒の登下校の安全確保に努めた。 ・小学校新1年生全員に防犯ブザーを配布し、児童の安全確保に配慮した。 <p>～その他「事務報告書」参照～</p>	4
		③学校給食の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校給食（中村地域）の開始 平成28年4月から小中学校完全給食実施 ・学校給食センター（スクールミールひがしやま・なかむらみなみ・ぐどう・にしとさ）調理及び配送業務委託の締結（H28.4.1～H31.3.31） ・給食食材の地産地消の推進 <p>～その他「事務報告書」参照～</p>	4
		④その他学校教育に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・四万十市小中学校再編検討委員会の開催（5回） 市立小学校及び中学校の児童生徒数の減少等の状況を踏まえ、子どもたちにとって望ましい教育環境のもとで教育効果を高める観点から、本市の学校再編等に関する検討を行った。 ・補導活動の実施 ・校内研究の充実及び支援 ・教育相談の充実 ・各種教育研究大会の開催 ・西土佐分校への支援 <p>～その他「事務報告書」参照～</p>	3

大項目	中項目	小項目	取り組みの概要	評価
3 管理・執行を教育長に委任する事務	(2) 生涯学習に関すること	①芸術文化の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・第35回市民大学の開催 (8/6～9/8) ・第12回文化祭の開催 (10/1～11/30) ・第58回美術展の開催 (11/18～24) ・まんが文化振興事業 (6月～3月) ・シルバー教室の開催 10講座 ・中国語講座の実施 月4回程度 ・四万十川国際音楽祭2016の開催 (7月～3月) ・四万十川こども演劇祭2016の開催 (8/22～11/20) ・ふれあいホール自主事業の実施 5回 ・子ども読書活動の推進 ・ブックスタートの実施 ・図書館利用率の引き上げ ・郷土資料館の展示改修及び躯体改修 地盤耐震性能調査検討業務委託 展示改修業務委託 躯体改修設計委託 ・志国高知幕末維新博しまんと特別企画展開催 (中央公民館) <p style="text-align: center;">～その他「事務報告書」参照～</p>	4
		②青少年健全育成	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年健全育成四万十市民会議への支援 ・青少年育成西土佐会議への支援 ・放課後児童健全育成事業の実施 7校 ・放課後子ども教室等の実施 8校 ・家庭教育支援基盤形成事業の実施 6事業 ・学童保育施設の管理運営 ・第12回四万十市成人式の開催 (1/3) ・少年補導センターの運営と街頭補導の実施 <p style="text-align: center;">～その他「事務報告書」参照～</p>	3
		③社会教育関係団体及び施設の管理と運営	<ul style="list-style-type: none"> ・四万十市連合婦人会活動への支援 ・西土佐連合青年団への支援 ・西土佐体育協会への支援 ・西土佐地区人権教育研究協議会への支援 ・分館活動への支援 (12分館) ・婦人・高齢者学級委託事業 6学級開催 ・四万十楽舎生涯学習委託事業 ・人権啓発事業の実施 12分館地区別学習会 人権フェスティバル ・西土佐ふれあいホールの管理運営 ・指定管理者 (文化センター、玉姫さくら館他) の継続 ・指定管理者 (図書館) による運営開始 <p style="text-align: center;">～その他「事務報告書」参照～</p>	4
		④文化財の保護活用	<ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財試掘調査・遺物整理 ・四万十川の文化的景観保全 整備活用計画作成 くろそん手帖活用 黒尊川生態調査・学生キャンプ2016 ・文化財保護・指定・管理 ・小学校出前事業の実施 	4

大項目	中項目	小項目	取り組みの概要	評価
		⑤社会体育施設の管理と運営	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者（安並運動公園体育施設等）の運営継続 利用人数163,414人 <p>～その他「事務報告書」参照～</p>	4
		⑥社会体育活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 四万十川ウルトラマラソンの開催(10/16) 2,372人 四万十川リバーサイドフルウォークの開催(4/2～4/3) 280人 スポーツ推進委員(23人)の研修の実施 いきいきクラブの開催(5月～3月) 31回 1,313人 スポーツ教室の開催(テニス教室20回 365人・シュノーケリング教室 27人・スポレクチャレンジフェスタ2回 76人・親子スポーツ健康教室6/4～6/25 182人) 新体力テスト実施 72人 第12回市民総合体育祭 30団体 1,920人(9/1～1/24) 市民ハイキング(5回 196人) 第48回読売中村ロードレース(12/23) 300人 スポーツで縁結び(9/8～9/17 24人) 第12回市スポーツ賞の表彰(3/5)(個人42、団体9) 学校開放事業 31施設 37,940人 第6回西土佐運動会 12分館 第26回西土佐駅伝大会 6チーム 38人 <p>～その他「事務報告書」参照～</p>	4
		⑦その他生涯学習に関すること	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育委員会・公民館運営審議会 4回 文化財保護審議会 1回 四万十市スポーツ推進委員会 1回 中村・西土佐部会 11回 図書館協議会 2回 資料館運営協議会 3回 <p>～その他「事務報告書」参照～</p>	3

《評価の目安》

評価ポイント	評価の目安
4	達成しているといえるもの
3	概ね達成しているといえるもの
2	あまり達成しているとはいえないもの
1	達成しているといえないもの

2 自己点検・評価に対する意見（学識経験者の知見）

評価者名	大 林 郁 男
<p>平成29年度教育委員会の自己点検・評価については概ね妥当なものと判断します。</p> <p>昨年の評価と比較しますと評価点数の増減項目はありませんが、大項目 [2. 教育委員会が管理執行する事務] 教育行政の基本的な方針に関する事で第2期教育振興基本計画が策定されるなどしており、基本的な事務は順調であったと思われます。</p> <p>その他、大項目 [3. 管理・執行を教育長に委任する事務] の(1)学校教育に関する事のうち、①教育内容・体制の充実の内容として、学力向上対策などの取り組みがこと細かく記載されており、平成28年度も引き続き熱心な取り組みがあったものと評価します。</p> <p>また、③学校給食の充実については、平成28年4月からの小中学校給食の完全実施は、その実現までに長い期間を要した取り組みだけに、単年度に限定せず、大いに評価をしたいと考えます。</p> <p>④その他学校教育に関する事については、小中学校再編計画検討委員会の開催が5回行われており、議論が進んだことが窺えます。尚、資料を見ますと、生徒数の減で学校運営がより厳しくなると予想される学校があります。これら検討委員会の議論を、早めに具体的な取り組みとして活かしていただきたいと思うところです。また、前年に行われた「いじめストップ四万十子どもサミット」宣言の啓発に向けた取り組みも続けられるなど、地道な取り組みが継続されていることは評価したいと考えます。</p> <p>生涯学習関連では、郷土資料館が改修のため29年1月から休館となっていますが、これまで運営に課題のあった施設だけに、改修に併せてその運営についても多角的な検討がされるよう期待するところです。</p> <p>今後も教育委員会の取り組み内容が停滞や後退することなく、より良い成果が得られるよう積極的に取り組みされることを要望しておきます。</p>	

評価者名	阿 部 統 洋
<p>平成29年度教育委員会の自己点検・評価については概ね妥当なものであると判断します。</p> <p>1 学校教育に関する事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生が実用英語技能検定を受験する際の受験料の補助について、平成28年度、11中学校208人の実績となっており、生徒の受験機会の拡大になる取り組みですので、今後受験希望者も増えてほしいと思います。 ・放課後学習支援事業について、市内小中学校それぞれ4校ずつ学習支援員を配置し加力学習を行うことで、基礎学力の向上や家庭学習の定着が図られています。学力や学習習慣など課題を持つ児童生徒にとっての習熟度に応じたきめ細かなサポートは、学習意欲の向上にも好影響をもたらすものと考え、息の長い事業継続が望まれます。 ・不登校対策について、スクールソーシャルワーカー4名の配置や、中村地域での教育支援センターによる学習支援などこれまで実施しているものに加え、平成28年10月から西土佐地域にもふれあい学級が開級されたことは、不登校児支援対策がこの地域の児童生徒にとってもより身近なものになり評価できます。 ・学校給食について、平成28年4月から市内小中学校完全給食実施となったことは、四万十市発足以降大きな成果の1つだと思います。給食を通じ地域の食文化や食に関する正しい知識が身に付き、更に農業体験や生産者との交流などから、生産をすることへの理解を深めることが期待されますので、より充実した食教育の推進が望まれます。 ・四万十市小中学校再編検討委員会について、5回の会議が開催され再編に関する検討が行われたことは、四万十市の望ましい教育環境を整える観点から評価出来ます。今後の進展に注目しています。 	

2 生涯学習に関すること

- ・郷土資料館について、昭和48年に建設された古い建物で、平成31年2月予定のリニューアルオープンに向けた取り組みが始まっており、幡多地域の歴史資料や文化遺産等の調査研究拠点として重要な役割を担うものと考えられることから、施設内の通常展示を充実させることは勿論のこと、企画展など対外的な事業展開にもこれまで以上に努めて欲しいと思います。
- ・図書館について、平成28年4月から指定管理者による運営が始まり、利用率も順調に伸び、平成27年度と比較して、入館者数で本館11,264人増の80,083人、西土佐分館1,073人増の8,039人、貸出者数も両館合計で3,219人増の41,891人となっています。開館日数が本館280日から342日に、分館285日から345日に増えたことも利用者増加に繋がっていると考えられますし、継続事業や自主事業の積極的な取り組みも含め、今後の充実した図書サービスに期待します。

